

質 問 回 答

2020年11月30日

「(案件名 20a00642 セルビア国欧州地域廃棄物管理能力向上プロジェクト)」
 (公示日：2020年11月11日／公示番号：20a00642) について、企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	・プロジェクト開始直後の専門家派遣について	企画競争説明書 P22、「開始直後に「3R/住民啓発」専門家を 90 日程度、連続で派遣することを想定している。」とあるが、「3R/住民啓発」専門家以外の専門家を派遣とすることは可能であるか、ご教示いただきたい。	「3R/住民啓発」専門家以外の専門家を派遣する提案を妨げるものではありませんが、プロポーザルにおいて当該派遣に係る計画の基本的考え方と理由を記載してください。
2	・期分けについて	企画競争説明書 P28 (3)「作業工程を念頭においた期分けのタイミングについても提案する」とあるが、期分け時期の変更提案する場合、企画競争説明書 P31(1)業務量の目途 第1期(本契約)約 16.5M/Mも併せて変更提案しても構わないか、ご教示いただきたい。	プロポーザルにおいて期分けに係る業務計画及び要員計画の基本的考え方と理由を記載の上、提案いただくことは可能です。
3	・対象廃棄物について	企画競争説明書では対象廃棄物が明記されていないが、PDM のプロジェクト目標には「Municipal Solid Waste Management: 都市固形廃棄物管理」となっている。EU 指令によると、「Municipal waste means household waste, as well as other waste which is, in its nature or composition, similar to household waste;」と定義されており、自治体の廃棄物管理対象として適切と考えるが、本業務の対象は「Municipal Waste: 都市廃棄物」と理解してよろしいか？	ご理解のとおりです。
4	・施設の調達 企画競争説明書 P16 (5)活動の概要 「活動 2-3: 収集車や中継基地など必要な機材や施設を調達する」	(5)活動の概要には「必要な機材や施設を調達する」とあるが、8)資機材の調達では、「コンパクター、ダンプトラック及び中継基地の建設工事以外の資機材についてはコンサルタント調達としている」となっており、コンサルタントが調達する機材は、以下の理解でよろしいか、ご教	コンサルタントが調達する資機材は、現時点の想定ではご理解のとおりです。活動 2-3 に記載されている施設の調達は、中継基地の建設工事のことを指しています。

通番号	当該頁項目	質問	回答
		<p>示いただきたい。 ・ウェストビン、・コンテナ、・コンポスト容器、・グラインダー、・コンプレッサー、・トラックスケール</p> <p>また、施設の調達は何を指すのか明示いただきたい。</p>	
5	<p>・資機材の調達 企画競争説明書 P24 8) 資機材の調達 「候補地の土地所有権、土壌・土質や建設に係る環境影響評価など、<u>必要な調査を本業務において実施すること</u>。なお、これらの調査については現地再委託を認める。」</p>	<p>企画競争説明書を確認する限り、中継基地の設計はコンサルタントの業務に含まれていないと理解するが、</p> <p>① 中継基地の設計者はセルビア側の「どの機関」であるか？</p> <p>② 右に示す調査業務は、従来、設計者の指示(場所、規模、数量等)に従って実施するものである。従って、調査項目費用算出のため、中継基地の概要(大凡の場所、施設規模、構造等)を示す資料を提供していただきたい。</p> <p>もし、上述の概要を示すことが困難であれば、右調査に係る経費は金額を指示していただき、「定額見積もり」として頂きたい。</p>	<p>① 中継基地については、その管理者となる行政サービス公社(Public Utility Company:PUC)との協議及び土壌・土質等の調査結果を踏まえ最終的な仕様を決定する予定です。設計・建設については現地業者を活用し、受注者は仕様及び現地業者提案の妥当性について助言・確認を行うことを想定しています。</p> <p>② 中継基地の建設場所はシド市北西部にある処分場(市内中心部から約2キロ)入口付近の土地を予定しています。具体的な施設面積は未定ですが、シド市一般廃棄物の年間発生量9,608トン(2019年)の約2割が持ち込まれる見込みです。中継基地の仕様ですが、破碎機を設置し、粗大ごみや資源ごみの一時保管場所として雨風をしのげることの出来る程度の比較的簡易な構造を想定しています。ただし、詳細計画調査は遠隔実施となり現地の踏査ができていないこと、また上記①の結果により最終的な仕様を決定する予定であるため、申し訳ありませんが、現時点では詳細な情報、資料を提供することが困難です。そのためプロポーザル提案時には240万円の定額計上としていただくようお願いします。</p>
6	<p>・中継基地の建設について 企画競争説明書 P19 (8)PP の実施 1)PP</p>	<p>資機材の調達、普及活動の実施、効果測定のための調査(ベースライン及びエンドライン)を実施するとあるが、分別排出によって集められた有価物の選別及び収集ご</p>	<p>中継基地の完成は、プロジェクト開始から1年半後を目安としています。中継基地の概略計画から完成までは、プロジェクト開始6か月頃から1年程度を見込んでいます。</p>

通番号	当該頁項目	質問	回答
	<p>の内容に関する中継基地の建設について</p>	<p>みの積み替えは中継基地で実施されると理解する。この一連のサイクルの中で中継基地は大きな役割を果たすもので、中継基地なしでは活動の実施及び効果の測定は不可能である。</p> <p>① 中継基地はいつ完成するのか、ご教示いただきたい。</p> <p>中継基地の概略計画から完成までどのくらいの期間を見込んでいるのか、ご教示いただきたい。</p>	
7	<p>・PPの対象地について</p>	<p>企画競争説明書 P19 (8)パイロットプロジェクト(PP)の実施では「<u>対象とする地区や規模については、C/P 機関と協議し、必要に応じて JICA とも協議の上で決定する</u>」、とある。</p> <p>一方、企画競争説明書 P19 (8)パイロットプロジェクト(PP)の実施 2)対象グループ「<u>シド市内の既存処分場に近い地区(1,000 世帯弱)の市民、事業体、小学校などを想定している</u>」、また、企画競争説明書 P27 【成果4に係る業務】では「<u>シド市内の既存処分場に近い(1,000 世帯弱)と同地域の小学校を対象にパイロットプロジェクトを実施し、</u>」とある。</p> <p>パイロットプロジェクト対象地は「シド市内の既存処分場に近い地区(1,000 世帯弱)の市民、事業体、小学校」と特定されている。あるいは現地調査開始後に「C/P 機関と協議決定する」、何れの指示であるかご教示いただきたい。</p>	<p>パイロットプロジェクトの実施場所については、詳細計画調査で C/P 側から提案のあった「シド市内の既存処分場に近い地区(1,000 世帯弱)の市民、事業体、小学校」を候補として考えております。最終的な対象地区は、プロジェクト開始後の現地調査結果を踏まえ、C/P 機関と協議し最終決定します。</p>

通番号	当該頁項目	質問	回答
8	・定額見積りについて	企画競争説明書 P5 3) b)一般業務費(特殊備人費等)(パイロット事業実施経費)3,000 千円とあるが、パイロットプロジェクト対象地におけるベースライン及びエンドライン調査を含むパイロット事業に係る直接経費(特殊備人、調査補助員、車両、物品等)一式と理解してよろしいか。	ご理解のとおりです。

以 上